

なぜ、大きなスーツ？

A FILM JONATHAN AND TALKING
BY DENIME AND HEADS

STOP MAKING SENSE

PRODUCED BY GARY WETZMAN
DIRECTED BY JONATHAN DENIME
CONCEIVED BY DAVID BYRNE
EXECUTIVE PRODUCER GARY KURFEST
EDITED BY LISA DAY
DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY JORDAN BRANDETH
VISUAL CONSULTANT SANDY WILEGD

ストップ・メイキング・センス

ON VIDEO AND ON CASSETTES

配給 **KUZUI**
センタープライズ

COMING SOON! 衝撃のライブ・ムービー「ゴスペル」次回、当劇場にて

HEAVY
NICE
NIGHT
MARCH 14th
OPEN!

IF YOU HAVE NO VACATION, STOP MAKING SENSE.
IF YOU HAVE NO TRIP, STOP MAKING SENSE.
IN THIS SPRING.



A FILM BY JONATHAN DEMME AND TALKING HEADS
STOP MAKING SENSE



TALKING HEADS

ロードアイランド・スクール・オブ・デザインで美術を学んでいた、デヴィッド・バーン、クリス・フランツ、そしてクリスのガールフレンド、ティナ・ウェイマスがグループを結成したのは1975年初めのこと。その後、ニューヨークに移り、ジェリー・ハリソンを加え、CBGBというニュー・ウェイブ・クラブでデビューしたのは同年6月。'77年にはファーストアルバム「TALKING HEADS:77」を発売し、アート・パンク・バンドとして名をあげた。その後の彼らは「More Songs About Building and Food」(’78年)、「Fear of Music」(’79年)とコンスタントにアルバムを発表。'80年の「Remain in Light」ではアフリカン・ビートを大胆に導入、より多くのファンを獲得した。ブラック・ミュージック・ツアーを率いて行なった、この時のツアーの模様は、'82年にライブ2枚組「ザ・ネーム・オブ・ディス・バンド・イズ・トーキング・ヘッドス」としてリリースされ、彼らはライブ・バンドとしての地位を確立。また、翌'83年のアルバム「Speaking in Tongues」では、よりポップなアプローチを見せ、シングル「Burning Down the House」は全米トップ10入りするほどのヒットとなった。その直後、今回映画化された全米ツアーが行なわれている。彼らは当映画のサントラ盤でもある「Stop Making Sense」を'84年に発表した後、1年余沈黙を守り、今年7月、ニュー・アルバム「リトル・クリチャーズ」をリリース。現在、その意外なほどアカースティカルで新鮮なサウンドが話題になっていることが示す通り、アルバムを出すごとに成長していくポジティブなグループである。

各メンバーのソロ・プロジェクトもグループ活動と並行して行なわれており、クリス&ティナ夫妻が結成したトム・クラブはそのダンサブルなサウンドが大ヒット。またデヴィッド・バーンやジェリー・ハリソンも各自ソロアルバムを発表。特にデヴィッドは最近、サントリーのヨーハイスのTVCFに登場し、ファンを喜ばせている。(鈴木ひとみ)

- リードボーカル/ギター.....デヴィッド・バーン
- ドラムス.....クリス・フランツ
- ギター/キーボード.....ジェリー・ハリソン
- ベース.....ティナ・ウェイマス

WHY A BIG SUIT?

この映画「ストップ・メイキング・センス」は、トーキング・ヘッドスの全米ツアー中、1983年12月12・13・14日の3日間にわたってハリウッドのパンテージズ・シアターで行なわれたステージの模様を収めた、ライブ・ドキュメンタリー・フィルムである。何の派手な仕掛けもない、彼らのアーティストックでシアトリカルなステージ。その見事なパフォーマンスを生きさせたシンプルなカメラ・ワークと共に、24トラックでデジタル・ライブ録音されたサウンドが素晴らしい。「自分たちでこのツアーを、またステージでプレイすることをとても楽しんでいたので、それをそのまま、ドキュメンタリー・タッチでストレートな映画にしてしまおうと思った。こんないいチャンスはもう2度とこないだろう、と感じたからね」とデヴィッド・バーンは語っているが、日本びいきの彼がこの映画の中で着ているビッグ・スーツは、能にインスパイヤーされて特注したステージ衣装。黒子をセット変えに起用するなど日本の簡素さに影響された、というステージングもユニークだ。

また、「ストップ・メイキング・センス」はこの種の映画としては珍しくニュース・ウィーク誌を筆頭にアメリカの各誌(紙)が選んだ'84ベスト・シネマの一本となっている。 <上映時間88分>

- スタッフ
- 監督——ジョナサン・デミ
 - 製作——ゲリー・ゴツツマン
 - 撮影——ジョーダン・クロネンウェス
 - 編集——リサ・デイ
 - 視覚——サンディ・マックロッド

映画配給/KUZUIエンタープライズ03-464-5643

サウンドトラック/東芝EMI

- SONGS
(In the order in which they appear in the film)
- Psycho Killer
 - Heaven
 - Thank You For Sending Me An Angel
 - Found A Job
 - Slippery People
 - Burnin' Down The House
 - Life During Wartime
 - Making Flippy Flop
 - Swamp
 - What A Day That Was
 - Naive Melody (This Must Be The Place)
 - Once In A Lifetime
 - Genius of Love (TOM TOM CLUB)
 - Girlfriend Is Better
 - Take Me To The River
 - Cross-Eyed and Painless

COMMENT

- シンプルな演出を印象的に見せることが一番むずかしいだけに、成功したらすごいものがある。これは最高のコンサート映画だ。
ピーター・バラカン(ディスク・ジョッキー)
- ムムム、久々にこいつはスグレものだ。キマッて、イカしてる。バッチシだ。キメてトボーゼ。
石井聡互(映画監督)
- デヴィッド・バーンは、あの身体の動きによって、あたかも空気の中からパワーを吸収しそれを外界に向かってはきだしている様だ。
今西祐次(ファッション・デザイナー)
- アメリカを代表するロック・グループのキャリアの中で、1つの頂点に達したともいえるパフォーマンスを収めた傑作だ。
(ローリング・ストーン誌)
- ミュージカル・マスターピース!
(サンフランシスコ・エクザミネー誌)

PIONEER
音と光の未来をひらく

LaserDisc

ストップ・メイキング・センス/トーキング・ヘッドス
2/25 レーザーディスク緊急発売!!

SM078-3022 ¥7,800 99分 **digital SOUND**

レーザーディスク株式会社 **パイオニア株式会社**

池袋ジョイシネマ2 9:00PMムービー オープニング **第一弾!**

3/14(金) ▶ 4/3(木) (日・祝日を除く連日)

特別鑑賞券 ¥1,200 (当日一般 ¥1,500 / 学生 ¥1,300)

東口サンシャイン60階通り	TEL. (971)	上映時間 夜9:00 1回のみ (両館とも)
池袋ジョイシネマ2	8362	
西武デパート先公園通り入口(全席リクライニングシート)	TEL. (462)	
渋谷ジョイシネマ	2539	

特別鑑賞券のお求めは、劇場窓口、都内PG、チケットぴあ、チケットセゾン他